

発行:(公財)日本フィルハーモニー交響楽団 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 TEL 03-5378-6311 FAX 03-5378-6161

日本フィルのトロンボーン奏者の岸良開城が所属する「トロンボーンカルテット シパング」が10月22日～25日の4日間にわたり南相馬に行きました。シパングは吉川武典(N響)、桑田晃(読響)、門脇賀智志(新日本フィル)、岸良開城(日本フィル)の4つのオーケストラのトロンボーン奏者からなるアンサンブルで、15年にわたって演奏活動を続け、CDも8枚リリースしており、そのユニークな活動は金管アンサンブルの世界ではとても有名です。震災後、世界中のトロンボーン奏者がリレーで演奏した「ア・ソング・フォー・ジャパン」にも参加しています。

<7口の指導受け、吹奏楽コンクール全国大会で「原一中」は見事「銅賞」を受賞>

初日は、吹奏楽コンクール東北大会で金賞を獲得し、全国大会を26日に控えた原町第一中学校に行きました。震災後生徒数が激減し6割になったため、吹奏楽部員も震災後は半分になってしまいました。今年の4月に指導に行ったときは34名だった部員は、新入生獲得運動の末、一年生含めてやっと45人に増えていました。全員レギュラー、補欠なし。

「日本一のシパングが来てくれる」と期待に胸ふくらませて緊張した面持ちの部員たちが待っていました。全国大会直前の最後のアンサンブルの仕上げに向け、シパングのみなさんのコメントに全員が集中します。プレスの取り方、会場の広がりイメージすること、約1時間にわたる細部の指導でアンサンブルがグンと変化しました。



後半はシパングの演奏、課題曲のR・シュトラウス「アルプス交響曲」のオーケストラバージョンのなかでのトロンボーン4本のコーラルを披露しました。美しい響きに、曲全体をイメージする素晴らしい体験。その4日後、名古屋で開かれた全国大会で、「原一中」は「銅賞」を獲得し、新聞やテレビで「被災地の希望」と称賛されました。



南相馬は福島第1原発から20キロ圏内の「帰宅困難地域」の小高地区と30キロまでの「緊急時避難準備区域」の原町地区と放射能の影響がないと言われている鹿島地区の3つに分断されています。おまけに沿岸は津波でおおきな被害を受けています。

今回は4つの小学校でコンサートを行いました。津波被害の大きかった地域の高平小学校、原町地区の第三、第二小学校、そして鹿島地区に避難している小高地区の3つの小学校。自分の生まれ育った故郷や学校を失い、友達や家族ともバラバラになってしまった子供たちに、音楽で輝く時間や希望を持ってほしい。シパングのみなさんは、アンサンブルをつくる喜びに満ちています。音楽は楽しく、心地良いものだ、というメッセージが子どもたちの身体に染み込んだに違いないと思います。



高平小 (10月23日)

<震災から2年半、仮設に住む親のストレスが子供に伝わっている現状、もともと吹奏楽が盛んだった福島の小学校に、再び金管の豊かな響きを取り戻したい>

24日の午前中は原町第三小学校。体育館に集まった250人の児童が聴きました。この学校は全員が原町第一中に進学するので、「みんな! 中学にいったら吹奏楽部に入ろう!」と呼びかけました。プログラムはクラーク「猫の組曲」や「日本の四季」など。リーダーの吉川さんの巧みなお話とトロンボーン4本の心地よいサウンドに引き寄せられます。

午後は小高地区の3つの小学校が合同で仮設の校舎に入っている鹿島中学に。小高地区は「帰宅困難地域」。家も学校も住んではいけない地域です。金房小学校・福浦小学校・鳩原小学校の三校が合同で、3年から6年までで60名。震災後、楽器に触れる機会が失われ、楽器を見るのも初めて、聴くのも初めて。リーダーの吉川さんがトロンボーンに触らせて音の振動を体験させてくれました。



原町第三小 (10月23日)



金房・福浦・鳩原小 (10月24日)

近くで聴く生の演奏、キラキラした楽器を奏でる素敵な大人たちに子どもたちは大興奮。ピリッも元気に歌いました。

この学校の子どもたちは全員が借り上げ住宅か仮設住宅から通っています。学校にいる間の子どもに屈託はないが、被災から2年半を過ぎた親のストレスが子どもに伝わってきているという校長先生の話が胸に突き刺さります。

今回、4つの小学校と1つの中学校の訪問で、震災で子どもたちの音楽へ触れる機会が中断された現実が分かりました。



岸良開城

福島のこの地域は小学校からの金管バンドの豊かな歴史があって、吹奏楽が盛んになりました。大人の生活からは、はるか遠いところにあるかもしれないけれど、今度は小学校の金管バンドの再建に関わっていこうと思いました。

吉川武典さんはご自身のブログで以下のように書いています。(中略)



吉川武典

「原発、放射能、線量計との24時間という、非日常の継続。そんなふさがちな時間の中で、少しでも瞳が輝き、明日への活力や希望、夢を生み出すのに、実は音楽は必要なアイテム。社会がその音楽に触れるきっかけのひとつとして、子供たちが携わる金管バンドや吹奏楽部の存在は大きく、被災地が抱えている大きな問題“子供の教育のあり方”と“大人たちにとって必要な音楽”は少なからず連動している。仮設の小学校、四年生以上にだけ聞いてもらったコンサートもあった。理由としては、“最近になって、ようやく楽器を本校から引き上げてきた。震災後からの数年、楽器に触れたことがない、実際の音と触れることが出来なかった学年の子供たちに、まず聞かせたい”とのことだった。子供たちの目の輝きは凄かった。本当に必要なのだと感じた。

『これから、少しずつ再開させたい』という言葉と同時に『どんどんやる子供が減っていく気がします』という先生方の不安な表情もたくさん見られた。太った子供も多いという。外で遊べず、体力の低下ははっきりと数字に表れているようで。それより、愕然とさせられたのはなんと“ストレス太り”だということ。小学生がである。親のストレス、減った精神が子供に伝

わりつつあるのだそう。それを、嘆く先生方にも気持ちの疲れが当然訪れる。

『日常は、本当にしんどいものです。そんな中、音楽に触れている時と、スポーツをしている時だけは、子供たちはいきいきとしてるんです』小学校から中学、子供たちと親、先生、社会が連動していることがわかった。そして、そこには音楽、音がとても必要なことも、深く理解できた。

貴重な四日間、そして“被災が継続されていることと人”の現実も、少なからず目の当たりにし、深く考えさせられた四日間でもあった。」



桑田晃



門脇賀智志

この活動は三菱 UFJ ニコス株式会社が、日本フィルの「被災地に音楽を」の活動を Partner Special として支援して下さいました。

日本フィル「被災地に音楽を」 訪問コンサート実施一覧

【2011年】

- 4月6日 二本松市東和文化センター
- 5月4日 日会津若松市文化センター
- 6日 埼玉県加須市騎西小学校 (福島県双葉町児童対象)
- 8日 宮城県名取市増田西小 同市関上地区日和山 同市文化会館
- 9日 気仙沼市階上中学校 同市松岩公民館 同市面瀬中学校
- 10日 石巻市石巻高校 同市湊小学校 同市門脇中学校 同市石巻中学校 同市北上子育てセンター
- 12日 埼玉県加須市騎西中学校 (福島県双葉町生徒対象)
- 6月4日 花巻市山の神温泉「幸迎館」
- 5日 釜石市甲子中学校 大船渡市リアスホール 福島県三春町田園生活館
- 6日 福島県三春町当体育館 同町三春小学校避難所
- 25日 二本松市 JICA 二本松研修センター 同市あだたら体育館 南相馬市鹿島保険センター
- 26日 福島県大玉村 フォレストパークあだたら 南相馬市原町第二中学校 道の駅南相馬 原町第一小学校体育館
- 7月10日 南三陸町志津川高校 ホテル観洋
- 11日 同町志津川中学校
- 8月6日 気仙沼市日本ハプテスト教会 同市小泉中学校 同市階上小学校
- 10月4日 東松島市立鳴瀬第一中学校 石巻市北上中学校
- 5日 石巻専修大学 石巻市「あたりえDaDa」 同市追分温泉旅館

- 10月6日 仙台市「泉白陵会」
- 7日 同市「愛泉会」
- 20日 いわき市江名中学 吹奏楽指導 同市下神白第一集会所
- 21日 同市内郷第二中学校
- 26日 東茨城郡 大洗町南中学校 第一中学校
- 11月21日 陸前高田市第一中学校
- 22日 花巻市山の神温泉[幸迎館]
- 24日 福島市松川町 みず和の郷 飯野学習センター
- 25日 同市松陵中学校 南体育館研修室

- 10月24日 南相馬市立鹿島小学校 農家民宿いちばん星
- 25日 南相馬市民文化会館「ゆめはっと」 ウェルカムコンサート
- 26日 南相馬市立三春小学校 いわき市立江名中学校
- 27日 いわき市立内郷第二中学校
- 12月14日 茨城町立明光中学校 茨城町立梅香中学校
- 15日 双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校サテライト校 吹奏楽指導 小名浜市民会館

【2012年】

- 1月20日 久慈市山村文化交流センター 県立久慈病院
- 21日 久慈市文化会館
- 22日 同上
- 3月27日 南相馬市原町第一中学校
- 28日 伊達市桃陵中学校
- 29日 南相馬市鹿島中学校
- 30日 同市原町第二中学校
- 3月28日 福島県三春町 三春小学校 埼玉県加須市騎西コミュニティC
- 5月20日 南三陸町志津川中学校 同町ホテル観洋ロビー
- 21日 同町南方仮設住宅集会所
- 6月17日 米沢市八幡原体育館 同市体育館ほか クリニック
- 8月7日 石巻市北上中学校
- 8日 同校体育館(岡崎市立城北中) 同市「あたりえDaDa」
- 9日 同市「こ〜ぶのお家 いしのまき」
- 9月19日 福島市立平野中学校 福島市商工会 福島市音楽堂
- 20日 福島市松川工業団地 第1・第2 仮設住宅集会所
- 21日 福島市立飯野中学校
- 30日 東京都江東区カトリック潮見教会

【2013年】

- 3月3日 石巻市役所
- 4日 同市「こ〜ぶのお家 いしのまき」 同市女川野球場仮設住宅
- 5日 同市みなと荘
- 21日 南三陸町志津川中学校
- 22日 同町南方仮設住宅集会所
- 4月3日 南相馬市原町第二中学校
- 4日 同市鹿島中学校
- 5日 同市石神中学校
- 6日 同市原町第一中学校
- 6月16日 岩手県大船渡市宮田応急仮設住宅
- 17日 同市気仙光陵支援学校 同市上平応急仮設住宅
- 18日 同市御喜来小学校
- 23日 宮城県石巻市総合体育館
- 10月22日 福島県南相馬市原町第一中学校
- 23日 同市高平小学校
- 24日 同市原町第三小学校 同市金房、福浦、鳩原小学校
- 25日 同市原町第二小学校